

# ネーミングライツを導入すべき



新井賢次



町長

住民の企業イメージが大事だ

**質問** 近年、多くの自治体において、収入源の確保のため、民間資金活用策の一つとして、ネーミングライツ（以下、NR）が導入され、成果を上げている。県内でも上毛新聞敷島球場、ヤマダグリーンロード前橋、ベイシア文化ホール等になじみがある。

企業にとっては宣伝効果だけではなく、社会貢献として捉えられ、イメージアップにつながる。自治体にとっては、維持管理費の軽減等が期待される。

町所有の公共施設等について、地域、企業の特性を生かしたNRの導入に向け積極的に取り組むべきだ。

**答弁** 町長 なれ親しんだ施設名が変わることへの違和感や、企業イメージが先行し、施設の所在、目的が分かりづらくなること、企業側に不祥事が生じた場合、施設イメージが低下する等の課題がある。導入による収益性との兼ね合

いを考え、研究を進めたい。

**質問** 特定の企業名への抵抗感は慣れるとなくなる。NRにより、県は今年当初予算で4100万円、前橋市は昨年度実績で3248万円の収入を確保し、さらに今年度は新しい施設として、横断歩道橋まで加えて収入維持の対策を練っている。また、自治体のなかにはホームページへのバナー広告、広報紙への広告掲載等に積極的に取り組んでいるところがある。

コロナ禍の影響を受けて今後、自治体に対する国からの交付金等は確実に減ってくる。景気停滞による財政の脆弱化に今から備えるべきだ。結果は必ず出る。町がやる気になれば必ずできる。動いてみるのが重要だ。収入増の方法としてぜひ考えるべきだ。

**答弁** 町長 町にとってどうか。住民が持つ企業イ



国道354号沿線の桜並木 NRとして個人オーナー制度の検討を

**こんな質問もしています**

- 子ども食堂の運営状況と今後の取り組みについて
- 水辺の森公園、烏川河川敷総合レクリエーション公園の有効利用について

# 新規工業団地の造成計画は



高橋茂樹



町長

候補地選定を始めている

**質問** 新規工業団地の造成計画はあるか。

**答弁** 町長 既に候補地選定を始めている。未来につながるよう、計画を進めていきたい。

**質問** 高崎玉村スマートIC北工業団地の進捗状況と今後の見通しは。

**答弁** 町長 埋蔵文化財調査が終了し、現在は測量調査や実施設計業務を群馬県企業局及び伊勢崎土木事務所と協力して進めている。令和5年度中に分譲開始ができるよう進めていく。



高崎玉村スマートIC北工業団地の発掘調査

## 空き家を減らす対策は

**質問** 空き家を壊すための補助金の基準は。

**答弁** 都市建設課長 1年以上上住んでいない空き家等が対象となり、取壊し費用の50%を補助する。なお、上限は50万円である。

## コロナ禍の影響者に対する支援策は

**質問** 感染予防対策の徹底と支援策は。

**答弁** 町長 感染防止に必要な情報の発信、注意喚起等を広報紙やメルマガなどで繰り返し行っている。また、ワクチン接種を順調に進めるとともに、感染対策用品を備蓄し、必要な場所への提供や対策を行っていきたい。さらに、事業所の消毒費用の一部を助成するとともに、小規模事業者、医療介護従事者等への支援を講じていく。

## 高齢者への対策は

**質問** 高齢者への対策は。

**答弁** 町長 コロナの影響で引きこもりがちになり、心身が衰える可能性が高まることが予想されるため、FMたまむらで「ぐんまの風体操」、「認知症予防講座」などを放送し、高齢者の体力維持向上に努めている。

**質問** 幼児・児童・生徒への対策は。

**答弁** 町長 保護者に対する支援として、国の施策による給付金を支給したほか、町独自の取組として、昨年5月と今年4月に給付事業を創設し、対象児童1人につき2万円を支給した。

**質問** 教育長 消毒用アルコールや密を避けて学習するために必要な大型モニターなど、学校及び幼稚園が必要としている物品を購入した。

**こんな質問もしています**

- 耕作放棄地について